

妊活大調査の調査結果

平成30年12月

広島県 健康福祉局

子育て・少子化対策課

1 調査の目的

早期の不妊検査・治療を促進するため、不妊検査・一般不妊治療費の助成事業の活用に向けた啓発を強化することを目的に、妊活や不妊に関する県民の意識や現状などに関する調査を実施した。

2 調査の方法

- ・ インターネットによる調査
- ・ 調査の概要

<調査対象>

広島県に在住する既婚者を対象

<調査方法>

インターネット上の特設サイトで回答者が自身の属性を選択し回答する

<回収数>

586名

属性① 不妊検査を受けていない夫婦の 夫 33名

〃 妻 196名

属性② 不妊検査を妻のみ受けている夫婦の 妻 74名

属性③ 不妊検査を夫婦ともに受けている夫婦の夫 26名

〃 妻 257名

<調査期間>

平成30年6月12日（火）～9月30日（日）

3 調査項目

- ・ 基本属性（性別、年齢）
- ・ 不妊検査の受診有無
- ・ 検査の必要性の有無
- ・ 医学的な知識の有無
- ・ 不妊症に対する考え方
- ・ 検査を受けていない理由
- ・ 助成制度についての認知度
- ・ 妊活について共感するフレーズ など

目次

§ 1 調査結果

1	子供を望むが不妊検査を受けていない夫婦の意識	1
2	妻のみ不妊検査を受けている夫婦の妻の意識	4
3	夫婦ともに不妊検査を受けている夫婦の意識	7
4	夫が不妊検査を受けたきっかけ	10
5	妊活・不妊治療中にパートナーにされて助かったサポート	11
6	妊活・不妊治療中にパートナーにしてほしかったサポート	12
7	パートナーへの思い	13